

# ワイマックス信号増幅 省電力の小型装置

ディー・クルー・テクノロジーズ

年春をメドに商品化する。

装置の大きさは四ミリ四方。使用電圧は三・三ボルト、平均の消費電流は三百マイクロワット。同種の信号増幅装置として最もエネルギー効率が高いという。信号の波長や振幅の大きさに合わせて使用する電流や電圧を制御する専用回路を搭載。次世代長距離無線通信規格の本命であるWiMAXのような振幅の大きな信号に対応した通信規格で消費電力を大幅に削減できる。装置の価格は一個三百円程度になる見通し。

【北九州】大規模集積回路（LSI）開発のディー・クルー・テクノロジーズ（北九州市、石川明彦社長）は消費電流を抑えた、次世代長距離無線通信規格「WiMAX（ワイマックス）」対応型の信号増幅装置を開発した。回路設計を工夫してエネルギー効率を高め、携帯通信機器に搭載しやすくした。二〇〇九

WiMAXに対応した信号増幅装置は欧米の電子部品メーカー数社が手掛けるがいずれも平均の消費電流が四百〜五百マイクロワット程度。電気の消費が激しかったり装置の発熱が周辺機器を棄損する恐れがあったりして携帯端末への搭載が難しかった。

「日経産業新聞」 2008年7月30日 掲載